

一般質問通告一覧

平成25年第1回島田市議会定例会
平成25年3月8日・11日・12日本会議

島 田 市 議 会

◎ 発言順位

【代表質問】

(頁)

平成25年3月8日(金)

14番	平松吉祝	議員	(新生しまだ：一問一答)	1
21番	坂下修	議員	(維新塾：一問一答)	2
7番	星野哲也	議員	(清流会：一問一答)	3
13番	清水唯史	議員	(創造島田：一問一答)	4
12番	原木忍	議員	(明政会：一問一答)	5
17番	富澤保宏	議員	(公明党島田市議団：一問一答)	6
20番	松本敏	議員	(日本共産党島田市議団：一問一答)	7

【個人質問】

平成25年3月11日(月)

4番	曾根嘉明	議員	(一問一答)	8
1番	藤本善男	議員	(一問一答)	9
9番	杉村要星	議員	(一問一答)	10
3番	村田千鶴子	議員	(一問一答)	11
18番	大石節雄	議員	(一問一答)	12
10番	佐野義晴	議員	(一問一答)	13

平成25年3月12日(火)

8番	桜井洋子	議員	(一問一答)	14
23番	河原崎聖	議員	(一問一答)	15
2番	八木伸雄	議員	(一問一答)	16
22番	福田正男	議員	(一問一答)	17
6番	仲田裕子	議員	(一問一答)	18

【 代 表 質 問 】

1. 14番 平松吉祝 議員（新生しまだ） （ 一問一答 ）

1. 今後の桜井市政の方向性を問う。

桜井市長は、平成25年度施政方針と予算の大綱において「これまでの市政の経験と施策の積み重ねを活かしながら、本市の更なる発展に向けた施策を展開し、『新たな時代への布石』にしてまいりたい」との所信を述べている。そこで、以下の諸点について所見を問う。

(1) 交通基盤の整備及び土地利用について

- ① 国道1号島田金谷バイパス4車線化及び国道473号バイパスの整備促進の取り組みをどう進めるか。
- ② その整備による島田市への波及効果をどう捉えているか。
- ③ 阿知ヶ谷東光寺線から谷口道線の整備の取り組みはどうか。
- ④ 新東名島田金谷インターチェンジ周辺の土地利用について、今後どのように見直しを進めていくのか。
- ⑤ 主要幹線の未整備道路の見直しはどうか。

(2) 地域内外の交流促進について

- ① 川根温泉宿泊施設を生かした観光交流をどのように展開していくのか。
- ② 定住化の促進や地域づくりの推進など、中山間地の振興や地域振興をどのように図っていくのか。
- ③ これまでの国際交流の取り組みを今後どのように発展させるのか。また、その推進体制をどのように強化していくのか。
- ④ 予想される大地震や災害におけるマンパワーの確保に向けて、地域内外の取り組み及びその仕組みづくりをどのように捉えているか。

(3) 新病院の建設と大学の誘致について

① 新病院の建設について

- ア 新病院建設地検討委員会における検討状況はどうか。
- イ 建設地決定に向けたスケジュールはどうか。
- ウ 新たな候補地について今後検討することはあるか。
- エ 中心市街地への病院の移転に関連して、中心市街地の活性化のための計画の策定はどうか。

② 大学の誘致について

- ア 大学の誘致に関する協議の進捗はどうか。
- イ 大学との交流はどのように考えているか。
- ウ 産学官の連携による研究開発はどうか。

2. 歯の健康施策について

近年、体の健康管理において歯の健康が大変重要であることから、様々な施策が実施されている。島田市においての現状と今後について問う。

- (1) 子供たちの歯の健康についての施策はどうか。また、今後の取り組みはどうか。
- (2) 市民への取り組みはどうか。
- (3) 「フッ素塗布」、「フッ素洗口」の現状と課題及び今後についての考えはどうか。
- (4) 仮称「歯の健康推進条例」を制定し、施策の推進を図るべきではないか。

2. 21番 坂下 修 議員 (維新塾) (一問一答)

1. 平成25年度施政方針について

(1) 「新たな時代への布石」という提言に対して

- ① 国道1号島田金谷バイパス4車線化及び国道473号バイパスの整備促進経過と今後の見通しについて伺う。
- ② 川根温泉宿泊施設の整備・運営計画から目的と運営基本を伺う。
- ③ 新病院建設と大学の誘致について、新病院建設地検討委員会の位置づけ、権限を伺う。

(2) 予算の大綱における「市民が安全・安心に暮らせるまち」についての提言に対して

- ① 県の第4次被害想定を踏まえた地震防災ガイドブックとあるが、形式と発行時期について伺う。

2. 静岡地域消防救急広域化事業について

過日行われた議員連絡会において「協議の凍結」という説明があったが、その経緯と理由を伺う。

3. 7番 星野哲也 議員(清流会) (一問一答)

1. 川根本町から初倉地区にかけての大井川を軸にした、将来の経済及びインフラ政策について

- (1) 隣接する川根本町との経済及び広域行政の現状と今後の計画はどうか。
- (2) 金谷往還下から初倉までの県道住吉金谷線の整備計画はどうか。
- (3) 今年に入り谷口橋の工事を行っているが、どのような作業をしているか。
- (4) 「はばたき橋」が今秋には念願の開通の運びとなる。次なる「大井川新橋」の要望について検討しているか。

2. 福祉行政で奨励する日本赤十字社の献血事業について

- (1) 献血者が減少していると聞くが、島田市の現状はどうか。
- (2) 全血献血と成分献血の採血基準はどのようになっているか。
- (3) 献血の間隔はどのくらい必要か。
- (4) 採血に伴う副作用が生じることはあるか。

4. 13番 清水唯史 議員（創造島田） （一問一答）

1. 平成25年度施政方針「新たな時代への布石」について

(1) 交通基盤の整備及び土地利用について

① 新東名高速道路島田金谷インターチェンジ周辺について

ア 将来を見据えた土地利用とはどのようなものか。

イ 土地利用に対して具体的にどのような施策を考えているか。

ウ 県の「内陸フロンティア構想」が国から指定されたが、この構想への連携をどのように考えているか。

(2) 地域内外の交流促進について

① 大井川を縦軸とした観光交流について

ア 富士山静岡空港周辺を中心とした交流施策をどのように考えるか。

イ 牧之原市、川根本町との連携した交流施策をどう進めるか。

ウ 川根温泉宿泊施設が川根本町へ与える効果・影響をどのように考えるか。

エ 中山間地の交流施策をどのように取り組んでいくか。

② 平成25年度の国際交流の取り組みについて

ア 世界お茶まつり、国際陶芸フェスティバルなど国際的イベントが開催されるが、島田市内での交流の取り組みをどのようにするのか。

イ 上記イベント以外の大井川大花火大会、S Lフェスタ2013、しまだ大井川マラソンinリバティ、島田大祭などの国際的PR活動をどのようにするのか。

ウ これまでに国際交流をどのように取り組んできたか。また、今後どのように発展させるか。

(3) 新病院建設の取り組みについて

① 新病院建設の建設地決定に対しての必要要件はどのようなものか。

② 新東名高速道路島田金谷インターチェンジ周辺や旧金谷中学校跡地は、建設候補地としての可能性があるか。

③ 災害時における拠点病院としての必要体制は何か。また、島田市の人口規模で最低限必要な設備は何か。

④ 島田市まちなか集積医療基本構想の中にある建設候補地以外に市民などから提案された場合、新病院建設地検討委員会では検討されるか。

5. 12番 原木 忍 議員 (明政会) (一問一答)

1. 合併の検証について

旧金谷町と旧島田市が平成17年5月に合併してから7年9カ月が経過し、旧川根町と平成20年4月に合併してから4年10カ月が経過した。合併の効果などについて伺う。

- (1) 合併の効果として、主にどのようなものがあるか。
- (2) 平成17年5月作成の島田市・金谷町新市建設計画、平成20年4月作成の島田市・川根町まちづくり計画の進捗状況はどうか。
- (3) まちづくり計画は、変更しようとするときはあらかじめ県知事に協議しなければならないが、金谷支所庁舎耐震補強事業はどうなっているか。
- (4) 旧金谷町・旧川根町の職員と、旧島田市職員との給与の格差は解消されているか。
- (5) 平成22年2月議会の代表質問で、合併特例債の起債を予定している事業名、起債額についての質問に対し、起債限度額196億2,810万円のうち51億2,000万円程度を見込んでいるとの答弁であったが、平成24年度末までの起債総額はどのくらいか。

2. 施政方針と平成25年度予算の大綱について

施政方針において、本市の更なる発展に向けて施策を展開し「新たな時代への布石」にすることを決意しているが、川根温泉滞在型宿泊施設などについて伺う。

- (1) 川根温泉宿泊施設の10年間の収支計画は策定されているか。
- (2) 「空港ティーガーデンシティ構想を念頭に置いて、真に交流拠点となる利活用策の具体化促進」とは、どのような利活用策を考えているか。
- (3) 公共交通基盤の整備において、公共交通に関する特別委員会の提言についてどう対処しているか。
- (4) 新病院の建設については「公立病院としてのあり方や機能・役割などについて議論を深める」としているが、具体的にはどのような議論をしていくのか。
- (5) 「こども館」は、子どもの居場所づくりの機能を果たしているか。

6. 17番 富澤保宏 議員（公明党島田市議団） （ 一問一答 ）

1. 子育て支援の充実について

- (1) 出産育児一時金に加え、島田市独自の子育て支援策を実施し、支給額を50万円まで引き上げることで子供を産み育てる環境整備を図ることを期待するが、所見を伺う。
- (2) 市内の保育園での待機児童は何人か。
- (3) 待機児童解消のため、認定こども園設置の今後の計画について伺う。
- (4) 国では待機児童解消のため、保育士確保に関する補正予算が組まれたが、島田市で活用する予定はあるか。

2. 小・中学校での教員・コーチ等による体罰、いじめ問題について

- (1) 市立学校での体罰の実態をどう把握しているか。
- (2) 体罰防止のための対策はどうか。
- (3) 体罰、いじめに関するアンケート調査は実施しているか。
- (4) いじめ問題に対する取り組み及び対策について伺う。

3. 雇用の充実について

- (1) 富士山静岡空港、新東名を活用した企業誘致についての戦略を伺う。
- (2) 雇用拡大のための今後の施策について考えを伺う。
- (3) 中山間地域の雇用の取り組みについてどのように考えているか。

7. 20番 松本 敏 議員（日本共産党島田市議団） （一問一答）

1. 消防・救急の広域化計画について

静岡市などとの消防・救急広域化計画は、平成23年8月の静岡地域消防救急広域化運営計画の策定指針に基づき、現在、運営協議会の各分野において協議が行われていると聞く。当該広域化計画が、果たして大規模・多様化する災害から市民を守るため、常備消防体制の強化につながるのかとの観点から、以下伺う。

- (1) 静岡県下では消防広域化が進んでいないように見受けられるが、その状況はどうか。また、それはどのような理由によるものか。
- (2) 広域化で本部要員、現場要員、資機材等島田市の常備消防体制は増強されるか。
- (3) 広域化で初動の消防力、増援体制、現場到着時間は向上が見込めるか。また、大規模災害時、静岡市の中に藤枝市・焼津市が存在するが、静岡市から島田市への支援出動を見込めるか。
- (4) 業務委託方式だが、消防職員は静岡市の職員になるのか。また、消防のトップは静岡市長になるのか。
- (5) 広域化計画策定指針では、経費負担は「広域化前を上回らない」とされている。それが実現できるか。
- (6) 消防本部は運営協議会の会議録など議論の内容を公表しない。それでは広域化計画を市民に理解してもらえないのではないかと。市民に公表すべきと思うがどうか。
- (7) 現段階では運営協議会内の協議が膠着していると聞く。計画は白紙に戻し、これまでどおり島田市単独での方向もあると思う。今後の方向について当局の見解を伺う。

2. 市民病院のまちなか移転問題について

現在、市民病院の建設場所を決定するため新病院建設地検討委員会に協議を委ねている。6月をめどに答申をまとめるとして、これまで3回審議を行っている。その審議内容なども踏まえ以下伺う。

- (1) 市民病院のあるべき姿として、市民に提供する医療、果たす役割はどうか。
- (2) 建設費は現地・市役所敷地・ジャスコ跡地周辺でそれぞれ幾らになるのかの比較資料を市民に示すべきと思うがどうか。
- (3) 新病院建設地検討委員会には候補地比較資料を示し、地質調査の計画も打ち出している。現病院敷地も含めて検討されていると理解してよいか。
- (4) ジャスコ跡地周辺地区への移転のケースについて
 - ① 島田市民病院は急性期医療を担う病院である。来院者が買い物をすることで中心市街地の活性化に役立つと考えるのか見解を伺う。
 - ② 新病院の施設規模について病床数、高層階の規模、駐車場、付属施設、ヘリポートなどの概要について伺う。
 - ③ 将来を見据えたとき、日進月歩の医療や大規模災害などへの対応により敷地拡張の余地が必要と思うが見解を伺う。
- (5) まちなか移転計画を白紙撤回し、財政規模を含めた計画を市民に公表し、説明会などで意見を聞くべきと思うがどうか。

【個人質問】

1. 4番 曾根嘉明 議員 (一問一答)

1. 食育推進計画について

島田市食育推進計画が平成22年3月に策定され3年が経過し、新たに食育推進計画を策定すると聞いている。策定するに当たっては現計画の進捗状況や重点施策の評価等を踏まえた上で行われると考えられるが、以下の点について伺う。

- (1) 現計画の中には策定時の課題等がまとめられているが、その進捗状況について
- (2) 現計画の中での問題点や不足しているところは何か。
- (3) 策定に当たり新たに取り入れる項目は何か。
- (4) 自然とつながる食育、特に地産地消の推進について
- (5) 食育推進計画を1年早く策定する理由は何か。

2. 交流人口増と定住化促進について

- (1) 平成20年の川根町との合併以降の人口推移について伺う。
- (2) 中心市街地での人口の現状について伺う。
- (3) 新病院がまちなかへ移転した場合、定住化やまちなかの活性化はどのように見込まれるか伺う。
- (4) 新病院の建設予定地については第三者委員会で検討が進められているが、これまでにどのような議論がされているか。また、まちなか移転についてどのような意見が出されているか伺う。
- (5) 大学が誘致された場合、人口増や活性化がどのように見込まれるか伺う。
- (6) S Lフェスタ、大井川マラソンなどのイベント開催による交流人口の増加の効果について伺う。

3. 内陸フロンティア構想について

- (1) 総合特区に指定された浜松市などの進展の状況について伺う。
- (2) 新東名高速道路島田金谷インターチェンジ周辺の土地利用について、市としてどのような構想を考えているのか伺う。
- (3) 土地利用の構想の実現に向けて、今後どのような取り組みを考えているのか伺う。

2. 1番 藤本善男議員 (一問一答)

1. 島田市の交通の将来像について

島田市まちなか集積医療基本構想が発表され、市民の関心を呼んでいる。しかしながら、構想で示された公共交通を利用したまちづくりの方向性に対し、交通アクセスや公共交通についての市民理解はいまだ不十分である。島田市の交通に関する現状と将来像について以下伺う。

(1) 中心市街地への交通集中について

- ① 新たな施設整備による中心市街地への自家用車流入状況を市はどう受け止めているか。
- ② 中心市街地への施設集中により駐車場不足が懸念される。今後どのように対処していくか。
- ③ 中心市街地の駐車場施設の利便性を高める必要があると考えるが、市はどのように考えているか。

(2) 公共交通の現状と将来予測について

- ① これまでの公共交通網の整備及び利用の実態はどうか。
- ② 高齢化と交通弱者の推移はどのような状況か。
- ③ 公共交通への依存度は、今後どのように推移すると考えるか。
- ④ 今後の公共交通網の整備はどのような方針であるか。

2. 家族と地域の時間づくり推進事業について

平成22年から実施している家族と地域の時間づくり推進事業は、平成24年で3回目となった。これまでの事業成果と課題及び今後について以下伺う。

(1) これまでの事業成果と課題について

- ① 島田市がこの事業を行うことを決めた理由は何か。
- ② 事業の成果として家族の時間づくりはどのように進展したか。
- ③ 企業、学校は事業の実施結果をどのように受け止めているか。また、課題はあるか。

(2) 今後の事業推進について

- ① 平成25年度の事業概要を伺う。
- ② 市の推進体制はどのようになっているか。
- ③ これまで出された課題についての対応策は何か。
- ④ 家族と地域の時間づくり推進事業は恒久化となるのか。

3. 9番 杉村要星議員 (一問一答)

1. 諏訪原城跡整備事業について

金谷には武田勝頼が築いた諏訪原城があり、昭和50年に国指定文化財となった。この城跡を住民は金谷の歴史遺産としてとても大切に、そして誇りに思っている。現在この城跡では発掘を主体にした整備事業が行われていることから、次の質問を行う。

- (1) 市は諏訪原城の歴史的な役割をどのように認識しているか伺う。
- (2) これまでの発掘はどのように行われ、何がわかってきたのか主な点を伺う。
- (3) 今後、事業はどのように行われ、完了時には城跡はどのように整備されるのか伺う。

2. 地域振興について

- (1) 市長は施政方針の中で「都市の成長力を高め、産業・経済の活力の創出につなげる」べく、「高速交通の結節点を活かした土地利用として、昨年供用された新東名高速道路島田金谷インターチェンジ周辺について、将来を見据えた有効な土地利用の検討を鋭意進めてまいります。」と述べている。

周辺の住民の一人として、こうした方針には大賛成であり期待を寄せるものであるが、これまでに幾度となく議論されてきたようにインターチェンジ周辺は農振地域に指定され、土地の転用が非常に厳しい状況となっている。

そこで、どのような方法で有効な土地利用を図ろうとするのか、その考えを伺う。

- (2) 金谷の大代地区にあるミサワホーム工場跡地に食品関係の企業（工場）の誘致が進められているとの話を聞いた。もしこれが実現されれば雇用の発生にもつながるのではと、地元では大いに関心が高まっており大歓迎である。

そこで、誘致の現状と今後の見通し、特に本当に実現できそうなのかについて伺う。

4. 3番 村田千鶴子議員 (一問一答)

1. まちなかの交流促進について

中心市街地の活性化・空洞化をどうするかが、各自治体の共通課題である。居住人口の減少や住民の高齢化等の進行に伴い地域コミュニティの弱体化が危惧される中、商業振興はもちろんであるが、まちなかでの市民の活発な交流活動を促進するには、市民のニーズに即したまちなか交流のソフト施策の充実や向上を図ることも必要ではないかと考える。そこで、以下について伺う。

(1) 今年は島田大祭の年である。大勢の来訪者が期待される中、市民の交流・滞在につながるキーポイントである「きめ細かなおもてなし」の観点から

① 島田大祭時のおもてなしについての当局の考えを伺う。

② 前回の大会では、有志の方が赤ちゃんの授乳等の休憩所（赤ちゃんの駅）を試行された実績があるが、その必要性について伺う。

(2) まちなかの交流拠点として、誰もが気楽に立ち寄れる「支援センター的な居場所」があってもいいのではと考える。現在、まちづくり島田が所有するピーファイブ駐車場の1階が活用されていないので、公共的な立場から有効活用を図り、交流促進を考えるべきではないか。当局の考えを伺う。

2. 民生委員児童委員・主任児童委員の改選に向けて

今年は3年に1度の一斉改選が行われる年である。民生委員児童委員・主任児童委員の皆さんは、社会奉仕の精神で個人情報保護法と守秘義務が定められている中で、地域福祉の担い手として頑張っておられる日々の活動に敬意と頭が下がる思いである。

民生委員児童委員は平成12年に民生委員法が改正され、それまでの保護指導から常に住民の立場に立って相談に応じ必要な援助を行うとされ、活動の対象年齢も乳幼児から高齢者までと幅広くなっている。また、近年社会状況が多様化する中でますます職務範囲が広がり、傍目から見ても多忙化を感じ、なり手不足にならないかと懸念する。

民生委員児童委員の皆さんが活動しやすい環境づくりが、地域福祉の増進にもつながると確信する。そこで、民生委員児童委員の負担軽減を主眼に、以下について伺う。

(1) 民生委員児童委員・主任児童委員の現状と今後の課題について伺う。

(2) 地域における協力体制はどのようになっているのか。

(3) 民生委員児童委員の相談窓口体制はどのようになっているのか。

(4) 個人情報保護法に過度に反応し、日々の活動のベースともなる援護を必要とする人のリストの貸与がされないとの声を聞くが、どうか伺う。

5. 18番 大石 節 雄 議員 (一問一答)

1. 中山間地域交流促進事業について

中山間地域から都会へと人の流れが進み、日本は大きな経済発展を成し遂げてきた。その裏側で中山間地域の活力は失われ、人口は激減し、特に少子化・高齢化は加速度的に進んできている現状である。

しかし、国民の生活水準の平準化のため、国・県・市の施策において、過疎対策・辺地対策が行われている。来年度、島田市において今までも対策を講じてきているが、特に、中山間地域交流促進事業という新規事業が提案されている。中山間地域に生活する市民に元気と活力を持っていただくためにも、この事業の具体的な内容、方向性について、以下伺う。

- (1) 根拠となる計画及び実施期間はどれくらいか。
- (2) 具体的な事業内容について
- (3) 中山間地域にどのような効果をもたらすのか。
- (4) 行政の窓口はどこになるのか。
- (5) この事業が市全体に与える効果はどうか。

2. 学校教育の最近の問題点について

最近の報道等による教育現場の体罰問題については、その影響による残念な結果がある。体罰は許されることではないと思う。特に、部活動など勝利至上主義については考えなければいけないことと思う。

しかし、報道という強力な広報により逆に現場で一生懸命がんばっている多くの教職員に対する影響も考えていかなくてはいけないことと感じている。

私は、以前生徒・児童の学力について、また、地域とのつながりについて質問をしたが、今回は部活動等を中心に以下質問する。

- (1) 学校現場での体罰問題に関する教育委員会の対応を伺う。
- (2) 部活動に対する教職員の活動の現状について伺う。
- (3) 小規模校の部活動の選択肢の現状について伺う。
- (4) 部活動に対する地域指導者活用の現状及び考え方について伺う。
- (5) 大会等、2校以上の合同による参加の可能性について伺う。

6. 10番 佐野義晴 議員 (一問一答)

1. 市民が望む新病院建設及び大学誘致のあり方と市政運営について

- (1) 事業を計画するに当たって、情報提供（広報活動）のあり方は適切か。
- (2) 補正予算を計上してまで、なぜ今ごろボーリング調査を行うのか。
- (3) 市民の反応及び新病院建設地検討委員会の協議内容を踏まえた今後の計画動向を伺う。

7. 8番 桜井洋子 議員 (一問一答)

1. 子どもたち一人一人に、行き届いた教育を保障する施策について

(1) 大阪で高校生が教師による体罰を苦に自殺し、命を奪われる事態にまでなっている。体罰は厳しい指導が行き過ぎたものではなく、明らかに人権侵害であり、暴力であり決して許されることではない。以下伺う。

① 市内小・中学校での体罰の実態をどう把握しているか。

② 体罰をなくす取り組みはどうか。

(2) 大津市でいじめによる自殺者が出るなど、心に異常をきたし死ぬまで追いつめられてしまう深刻な事態が広がっている。いじめは、いかなる形をとろうとも人権侵害であり、暴力であり決して許されることではない。以下伺う。

① 文部科学省ではいじめ問題に対する緊急調査をしたとのことだが、市内小・中学校の実態をどう把握しているか。

② 静岡県では「いじめ対応マニュアル」を作成し対応策を示した。島田市のいじめ根絶の取り組みはどうか。

(3) 子どもたちをめぐる社会状況の変化の中、一人一人に目が行き届き、わかる授業、楽しい学校がますます求められている。以下伺う。

① 市独自の30人以下学級を進める必要があるがどうか。

② 市独自で支援員の配置を充実させる必要があるがどうか。

(4) 市は教職員から駐車場料金を徴収し、県下でも例のない特異な状況にある。以下伺う。

① 駐車場料金の徴収の実態はどうなっているか。

② 県下では駐車場料金を徴収している自治体が他に生まれていない理由をどう考えるか。

2. 子どもの医療費の助成制度充実について

子育て支援策として重要な子どもの医療費の助成制度は、その対象が通院・入院とも中学3年生まで実施されてきた。さらなる充実を求め、以下伺う。

(1) 島田市は小学生以上の医療費の支払いが、通院・入院とも一旦全額自己負担し、後で自己負担金を引いた分を払い戻してもらう償還払いだ。医療機関の窓口で支払いが済む現物給付にすべきだがどうか。

(2) 未就学児の入院以外は自己負担が伴う。子どもの医療費の完全無料化を進めるべきだがどうか。

8. 23番 河原崎 聖 議員 (一問一答)

1. 財政運営について

- (1) 地方交付税の今後の見通しについてどのように考えているか。
- (2) 公共施設白書などをつくる考えはないか。

2. 自治体連携について

(1) 近隣自治体との連携について

① 企業誘致について

施政方針の中で「地震による津波被害のリスクが低い本市の特徴を活かし、新たな工業用地を開発するための調査を行ってまいります。」とあるが、具体的にはどのようなことを考えているのか。また、これについて近隣の市町と何らかの協議が行われているか。

② 転入者数の増加について

沿岸部から島田市に転入する人の数はふえているのか。また、ふえているとすれば、どれくらいか。

③ 地震対策について

大地震の際津波が発生すれば、沿岸部から多くの避難民が島田市に押し寄せる可能性が高いと思われる。こうしたことを含め、大地震発生時の対策について、近隣の市町とどのような検討が行われているか。

④ 消防体制について

今後何らかの見直しが行われるのか。

(2) 近隣を含むその他自治体との連携について

① 災害時相互応援協定について

これまでの取り組みと今後の見通しについて伺う。

② 被災自治体への職員の派遣について

来年度以降の取り組みについて伺う。

9. 2番 八木伸雄議員 (一問一答)

1. 市民病院の経営の悪化を問う。

かつてほとんどの自治体病院は赤字経営であった。それが、民主党政権時に医療費の改訂が行われ、約6割の病院が黒字に転換した。

当市民病院も5億円近い黒字の決算報告があった。医療費の改定以外にも病院関係者の大きな努力もあったことと感謝する。

しかし、平成24年度は0.004%の医療費の改定が行われたにもかかわらず、決算見込みでは、大きな医療収益の減少が見込まれている。

そこで、以下原因と対策について

- (1) 医師の相次ぐ退職による診療報酬の減少が、経営悪化の大きな要因であると思われるが、当局の見解を伺う。
- (2) 平成24年度の医師の退職者数と新規採用者数を伺う。
- (3) 医師が退職する理由は何か。推測される原因は何か。
- (4) 早急な医師の確保のためにどのような対策をとっているか伺う。
- (5) 長期的な医師確保の対策として奨学金制度を設けているが、状況はどうか。

2. フッ素洗口の導入について

フッ素塗布が市内小・中学校全域で実施されることになり、子供たちの虫歯予防が大きく前進することに心から感謝するとともに、その成果に大きな期待をしている。

その上で、さらに効果の高いフッ素洗口へと移行するよう以下質問をする。

- (1) フッ素洗口の効果に対する認識を伺う。
- (2) フッ素洗口でなく、塗布を導入したのはなぜか。
- (3) 今後、塗布から洗口に移行すべきと考えるがどうか。

3. お茶の風評被害による賠償の状況について

長引く販売不振に加え、福島第一原発の影響による風評被害により極度の販売不振に陥った茶業関係者に対する賠償が行われることとなった。その賠償の支払い状況について伺う。

- (1) 茶商と農家の賠償請求の実態はどうか。
- (2) 未請求の農家の救済策を考えているか。
- (3) 来年度以降の販売促進対策をどのようにしていくのか。

10. 22番 福田正男議員 (一問一答)

1. 桜井市長の12年間の市政運営について

- (1) 平成13年に桜井市長が就任したときの市債残高は一般会計で230億円だった。現在、平成24年度末見込み額は約432億円である。ふえた理由は何か。
- (2) これまで12年間のハコモノ建設は何件か。それぞれの施設名称と建設金額を明示してもらいたい。
- (3) 廃プラ裁判の経過と結果とその後の対応について市長の見解を伺う。
- (4) 島田市金谷生きがいセンターの指定管理者の選定について経過と結果を伺う。
- (5) 震災瓦れき受け入れの経過と結果について伺う。
- (6) 最終処分場の地権者による入り口封鎖問題について今後の対応を伺う。
- (7) ジャスコ跡地の固定資産税滞納分2億円余りを不納欠損処分した経過とその後の対応について伺う。

2. 公共施設とインフラの老朽化対策として、市は今後どのように考えているのか伺う。

11. 6番 仲田裕子 議員 (一問一答)

1. 茶産業の発展にかかわる支援について

島田市はお茶の産地として発展してきた地域である。これまでも茶産業の支援を図る農業振興事業や農業制度資金利子助成金、農業生産工程管理手法認証等取得奨励金、がんばる認定農業者支援事業、農業経営体質強化基盤整備事業等々多くの事業が実施されてきた。しかし、自然を相手の茶園管理は生産者にとって決して満足する経営状況には至らないのが現実である。

そこで、島田市として茶業の発展にかかわる支援の状況と今後の展望について

- (1) 昨年、新聞に島田茶の安全を宣伝する広告を掲載した。その成果をどのように分析したか伺う。
- (2) 農業生産工程管理手法認証等取得奨励金の今までの成果を伺う。
- (3) がんばる認定農業者支援事業の成果を伺う。
- (4) 農業経営体質強化基盤整備事業の進捗状況と最終的な事業費を伺う。
- (5) 農業委員会との間で農業に関する問題についてどのような議論があったか伺う。

2. 川根温泉宿泊施設の今後について

川根温泉宿泊施設は、川根地区だけでなく島田市全体の活性化に寄与する事業と期待している。財源は過疎対策事業債を活用し、当初の計画より誘客しやすい施設に変更したため事業費も当初の計画より高額になり約20億円とのことであるが、今回の入札結果を見ると、建設工事契約金額は約15億6,000万円となり入札により安くなった。

しかし、過疎対策事業債の活用とはいえ、約15億6,000万円もの多額な事業費であることには変わらない。宿泊施設の経営を考えるに、専門知識を持った職員はもちろん、経営理念や将来計画を立てて事業を行うのが常識である。

- (1) 川根温泉宿泊施設を島田市としてどのように運営していくのか伺う。
- (2) 雇用の促進については大いに期待するが、専門職員はどうしても必要と考える。ホテル経営の専門家や業務に精通した職員を確保する対策をどのようにするのか伺う。
- (3) 島田市の宿泊施設の宣伝のあり方を伺う。